

もろかずお Vol.18 ニュース



議会録画配信

北本をずっと
住み続けたい街にする

北本市議会議員 会派みらい れいわ新選組公認

毛呂一夫 (もろ かずお)



公式ホームページ



ご意見箱

ご意見・ご相談お寄せください

080-5871-3536



令和7年 第3回北本市議会定例会

全体像(審議された件数)		【結果】
議案第51号～73号	23件	全議案・議提とも
報告第8号・9号	2件	認定・原案可決された
議提第6号・7号※	2件	
合計	27件	

※議提第6号

インボイス制度に関する経過措置の延長を求める意見書

討論：埼玉県議会では自民党県議団などがインボイス（適格請求書等保存方式）制度の廃止を求める意見書案を提出し、賛成多数で可決されました。

経理事務などが小規模事業者にとって過大な負担となっていることや、国の支援措置が不十分なことなどを提出理由に挙げています。

自民党ですらこの制度の過酷さを認識しています。売り上げに掛かる納税負担による収入減またはインボイス非加入で廃業せざるを得ない事業者が増加しています。

2024年の倒産件数について、業種別に見ると、サービス業が最も多く、次いで小売業、建設業が続きました。

2024年の倒産件数は2,547件で、前年比21.3%増、2000年以降で最多となっています。（帝国データバンク調べ）。

小規模事業者を廃業に追い込むような、このインボイス制度は即刻廃止するのが相当であります。その前段階として今ある経過措置を延長し、2割特例他（みなし仕入れ率・簡易課税制度）小規模事業者を救済する措置は残して置くべきと考えます。よって、インボイス制度に関する経過措置の延長を求める意見書提出に賛成とします。



※議提第7号

生活保護基準引下げ処分取消等請求訴訟の最高裁判決に基づき速やかな被害回復措置を求める意見書

討論：2025年6月、最高裁判所は2013年から3年間にわたって国が行った生活保護費の引き下げを「違法」とし、取り消す判決を言い渡しました。全国29都道府県で1,000人を超える原告が提訴した「いのちのとりで裁判」における初の統一判断で、原告の勝訴が確定しました。

厚生労働省は判決を受けて専門家会議を設置し、国としての対応を検討する方針です。

「デフレ調整」を目的として行われた物価指数の算出において、低所得者世帯の実際の消費実態と乖離している点が問題視され、専門家への諮問も行われなかったことが指摘されています。

減額された分の支給賠償要求など、当時の受給者への補償が今後の焦点となります。今後、生活保護の基準を改定する際には専門家による部会の検証をルールとすることなども求めています。

最後のセーフティネットである生活保護が蹂躪されたことに大いに遺憾に感じるところです。

国に対して、被害者たるすべての生活保護利用者への謝罪及び保護費の遡及支給等被害回復の措置を速やかに講じること並びに生活扶助基準と連動する諸制度への影響の調査と被害回復を図ることに賛成とします。

毛呂が反対した議案→反対討論はなし

